

各種報告

JRグループ労組連絡会2018春闘総決起集会を開催

JR連合は、2月15日、大阪市内において、「JRグループ労組連絡会2018春闘総決起集会」を開催し、南関東ロジ労組から山田委員長、貨物鉄産労から大杉委員長が参加しました。

主催者八木代表幹事の挨拶では、賃金の維持向上、総合生活改善にむけた労働条件向上をかかげた春闘に関する決意を述べられ、JR連合松岡会長からは、「5年連続ベア獲得の実績から「底上げ・底支え」は毎年できてきている。日本経済も安定していることから夏



頃には、安倍首相がデフレ脱却を發表するのではないかと。従って、2018春闘は、月例賃金アップにこだわり、全グループ労組が春

闘要求を提出する事を望み、グループ労組に光を与える春闘にして頂きたい。また、春闘が終わった後は、今通常国会の「働き方改革関連法案」に取り組みでいきいと述べられました。

続いて、北村事務局長から春闘生活闘争方針提起され、全グループ労組は、春闘要求書を2月28日、一斉提出することを強く要請しました。

各分科会代表決意表明では、陸運分科会を代表して、南関東ロジ労組山田委員長が、業務内容に違いがあるものの、同じ鉄道事業で働く仲間として、JR連合統一ベア要求3000円目安に賛同し、責任組合として2018春闘をJR連合のご指導を受けながら取り組む決意を述べられました。最後に、八木代表幹事による団結ガンバローで、会は終了しました。



山田委員長

JR連合東海地方協議会2018春季生活闘争勝利討論集会在開催される



その後、中山部長より、2018春季生活闘争をはじめとするJR連合の課題と方針について問題提起を受け、各単組による決意表明に移りました。決意表明では、貨物鉄産労東海地区本部を代表して阿部地区本部執行委員が、貨物会社を取り巻く状況、貨物民主化の取り組みと2018春闘の取り組みについて元氣よく決意表明を行いました。各単組による決意表明終了後、丹澤青年女性委員長（JR東海ユニオン）が集会アピールを朗読し全体の拍手で確認されました。最後に尾内議長による「団結ガンバロー」で2018春季生活闘争勝利討論集会は成功裏に終了しました。



千早操車場構内死亡労災遺族支援金カンパご協力のお願い

貨物鉄産労として取り組みますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。取り組み方については各地区本部に確認願います。

日本人の寿命は延びても、病気や事故はなくなりません。

どんな事故に遭うか、いつ病気になるか、誰にでも予測はできません。その時になってあわてないように、しっかりしたガードが大切。それが家族への責任です。



交通災害共済/生命共済/入院共済

家族の幸せを大きくサポート

契約引受団体：明治安田生命保険相互会社

みんなで暮らしをガード
交通災害共済/生命共済/入院共済